非営利活動任意団体　　CCC会報　NO.5　2014 年11月

ご挨拶

11月の声を聴くと同時にはや年末に向けて何かと忙しい日々になって参りました。
皆様にはお元気でお過ごしでしょうか。

私どもＣＣＣの今年度上期の活動ご報告を申し上げます。

今年度も、会員の皆さまからの会費、ご寄付、活動ご協力を得、１昨年度から継続している、未だに原発による避難を強いられている飯舘村を対象とした活動を継続しております。具体的には幼稚園、小学校の子どもたちを主とした村民の皆さまの健康管理および心のケアを主眼とした活動です。昨年はほぼ幼稚園をその場と致しましたが、本年度は小学校の生徒さんへの支援活動も具体化致しました。皆さまの暖かいご支援に、改めてこの誌上を借り心から感謝申し上げます。

報道にもありますように、本年度、飯舘村はその一部でも帰村を具体化するという強い意志を持たれ、そのための様々な施策を実行しておられます。一方、健康、心のケアについては不安が一掃されているわけではありません。私どもの役割も当初に比しより専門的にもなり、子どもたちの生育過程において深く広く医療アドバイスをさせていただくようになって参りました。引き続き行政の方々とも連携を取り、共に探りつつ様々な健康上の問題への解決の糸口を見つけ少しでも安心したお暮らしが見えてくるよう、地味ながら長く支援を続けて参りたいと存じます。

会員の皆さまには今後共ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成26年11月吉日

感謝を込めて・・・CCC代表　　出口貴美子

平成26年度上期　平成26年4月～平成26年9月　活動ご報告

Photo gallery

【 平成26年度の活動　3つの柱 】

☆支援対象：飯舘村のこどもたち

村の健康福祉課と連携し、こどものこころのケア座談会・相談会を開催し、放射線被曝の心配や「非日常」的な避難生活の中で生じるストレスに対するケアと育児や教育に関する相談を継続して行います。また、こどもたちが室内で身体を動かす「遊び」のプログラムを導入し、思い切り遊べる「場」を提供していきます。
また今年は新たに小学校児童への留意アドバイスを開始しました。

☆支援対象：発達障害のこども

自閉症や多動児などの発達障害の早期発見と適切な療育の提供が困難となっている飯舘村に、村立幼稚園児を対象に、継続して発達健診を実施します。その徴候の見えるこどもをスクリーニングすると同時に、こども達ひとりひとりの生の声を聞くことから、現在の避難生活がこども達の日常に及ぼす影響を調べます。結果は園の教諭の皆さまにフィードバックし日頃の教育に活かして頂きます。

☆支援対象：こどもを取り巻く大人たち

帰村の目処の立たない避難生活の中で、待ったなしのこども達の育児や教育、大所帯家族から小家族単位への分断、帰村か移住かの決断といった大きな岐路に立たされている保護者が抱える、こども達の「今」と「未来」に関する悩み、生活の不安などによる心的ストレスを、相談会やカウンセリング、こども達を交えた夢のあるセミナーや音楽などのイベントを通じて、少しでも解消出来るよう支援していきます。

♥♥平成26年度　上半期（2014年4月～2014年9月）活動ご報告♥♥

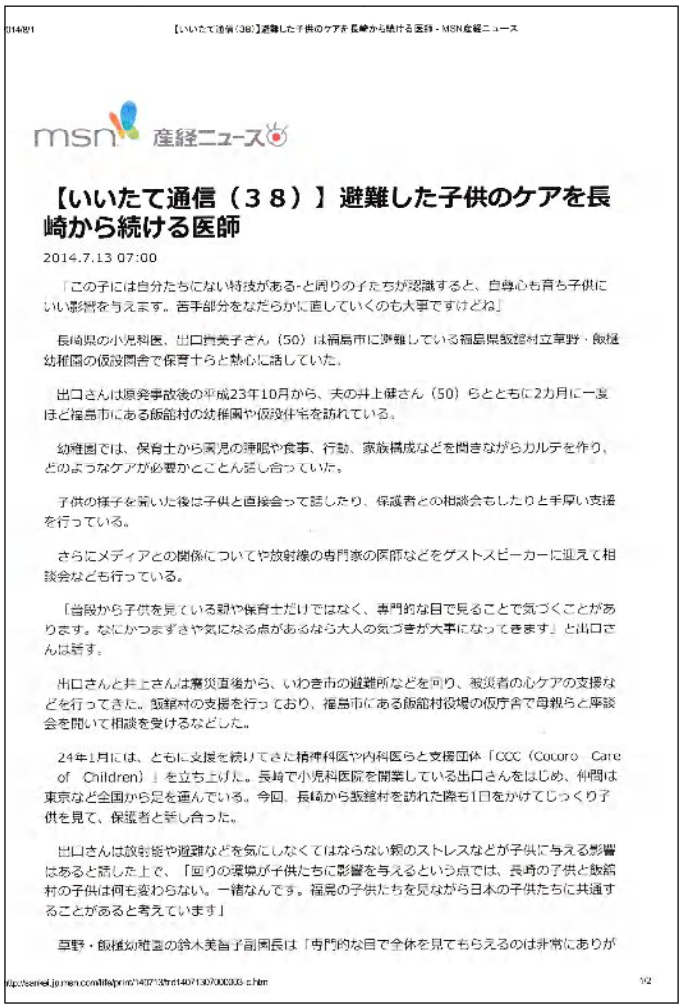
♡6月19日　飯舘村立　草野飯樋幼稚園　園児観察及びアドバイス

・・テレビ放映されました／福島中央テレビ　　当日の夕方福島県地域ニュース・・
・・産経新聞から取材が入りました　　翌日の朝刊に掲載されました・・・

訪問者：代表出口貴美子医師と副代表井上　健医師の２名。

梅雨のさなかの訪問でしたが、午前中は、プール遊びをするこどもたちの様子を観察することが出来ました。その後、あらかじめ幼稚園で教諭および保護者が記入した調査票に基づいて抽出された『ちょっと気になるこどもたち』について、副園長と打ち合わせを行いました。この調査票を用いた評価により、こどもたちの持つ様々な特性を客観的に評価することが出来ます。その中から、出口医師が個別に発達健診を行い、発達に関する評価を行いました。その後、昼食をこどもたちと一緒にとりながら、こどもたちの様子を観察。こどもたちと話をしながら、楽しい食事をとることが出来ました。

午後からは予定していた４名の保護者とそれぞれ２名ずつ個別に３０分ほどの時間をとって相談を受けました。こどもの発達の問題や、育児に関する問題、家庭内での問題などプライベートな内容をも含めご相談を受けました。帰宅する園児を送り出した後、幼稚園の先生とミーティングを行い、診察の結果と評価、相談の内容に基づく『気になるこどもたち』に関する情報提供を行うと共に各園児や保護者への援助や個別の対応等についてアドバイスを行いこの日の幼稚園での活動を終了しました。



2014/8/1　　【いいたて通信（38）】避難した子供のケアを長崎から続ける医師・MSN産経ニュース

msn 産経ニュース

【いいたて通信（３８）】避難した子供のケアを長崎から続ける医師

2014.7.13 07:00

「この子には自分たちにない特技がある-と周りの子たちが認識すると、自尊心も育ち子供にいい影響を与えます。苦手部分をなだらかに直していくのも大事ですけどね」

長崎県の小児科医、出口貴美子さん（50）は福島市に避難している福島県飯舘村立草野・飯樋幼稚園の仮設園舎で保育士らと熱心に話していた。

出口さんは原発事故後の平成23年10月から、夫の井上健さん（50）らとともに2カ月に一度ほど福島市にある飯舘村の幼稚園や仮設住宅を訪れている。

幼稚園では、保育士から園児の睡眠や食事、行動、家族構成などを聞きながらカルテを作り、どのようなケアが必要かとことん話し合っていた。

子供の様子を聞いた後は子供と直接会って話したり、保護者との相談会もしたりと手厚い支援を行っている。

さらにメディアとの関係についてや放射線の専門家の医師などをゲストスピーカーに迎えて相談会なども行っている。

「普段から子供を見ている親や保育士だけではなく、専門的な目で見ることで気づくことがあります。なにかつまずきや気になる点があるなら大人の気づきが大事になってきます」と出口さんは話す。

出口さんと井上さんは震災直後から、いわき市の避難所などを回り、被災者の心ケアの支援などを行ってきた。飯舘村の支援を行っており、福島市にある飯舘村役場の仮庁舎で母親らと座談会を開いて相談を受けるなどした。

24年1月には、ともに支援を続けてきた精神科医や内科医らと支援団体「CCC（Cocoro Care of Children）」を立ち上げた。長崎で小児科医院を開業している出口さんをはじめ、仲間は東京など全国から足を運んでいる。今回、長崎から飯舘村を訪れた際も1日をかけてじっくり子供を見て、保護者と話し合った。

出口さんは放射能や避難などを気にしなくてはならない親のストレスなどが子供に与える影響はあると話した上で、「回りの環境が子供たちに影響を与えるという点では、長崎の子供と飯舘村の子供は何も変わらない。一緒なんです。福島の子供たちを見ながら日本の子供たちに共通することがあると考えています」

草野・飯樋幼稚園の鈴木美智子副園長は「専門的な目で全体を見てもらえるのは非常にありが

http://sankei.jp.msn.com/life/print/140713/trd1407130700003-c.htm　　1/2

産経新聞　デジタル記事　【部分】

今回の訪問は、昨年度から継続的に行っている園児の発達のフォローの一環として実施したものです。避難生活に伴う実生活での慢性的なストレスに対してより脆弱と思われる『気になるこどもたち』に対する観察、見守りとケアを充実させ、健やかな成長を促すことを目標としています。そのために園の先生との情報共有を密に行い、適切なアドバイスを行うことが重要と考えています。

その後、飯野町にある仮設村役場に向かい、菅野村長はじめ、健康福祉課、教育課など、これまで協力して活動を行って来た部署をまわり、活動の報告をするとともに、本年度も継続して飯舘村の支援活動を実施していくことを申し入れました。

♡7月3日（木）村立草野飯樋幼稚園　祖父母参観日　日本の芸能で遊ぶ
・・テレビで放映されました／福島中央テレビ　　当日の夕方福島県地域ニュース・・

訪問者：竹本弥清太夫（浄瑠璃）、千川貴楽（日舞／千川流家元）
　　井上健、星田啓子

震災以来、それまで２世代、３世代で一緒に暮らしていた家族が避難先住居の問題から多くの村民の皆さまが已む無く夫々の世代に分かれて暮らす例が多くなっています。そのため、幼稚園では一年に２回ほど祖父母参観日を設け、お孫さんたちの幼稚園での様子をご覧になったり一緒に遊んだりする時間を大事にしています。今回は、幼稚園としては初めての日本の芸能「浄瑠璃と歌舞伎」を子どもたちと共に楽しんでみることにしました。

ＣＣＣとして考えている「辛い体験を楽しい体験で上塗りをする」ことが目的の会です。幼稚園時代にこんな楽しいことがあった、こんな面白い体験をした、という記憶と記録です。こどもたちだけでなく、両親祖父母も巻き込むところがポイントと考えて活動をしてきました。

浄瑠璃の弥清太夫も千川家元も子どもたちが大好き！という明るく優しいお人柄。工夫を凝らした、15分刻みの出しものとして約１時間たいへん楽しい会になりました。

以下のようなタイムテーブルでの活動です。
最初の５分：歌舞伎や舞踊のこと

２０分：浄瑠璃と舞踊の実演／『日高川入相花王/ﾋﾀﾞ ｶｶﾞ ﾜｲﾘｱｲｻﾞ ｸﾗ』
創作／子どもたちと即興で浄瑠璃と舞の振りを付けます。
❤大きくなったら何になりたいの？夢とお名前をききます。お返事に沿って浄瑠璃の弥清太夫は義太夫のセリフ、千川家元は振りを考えて即興で子どもと一緒に踊ります。1人が勇気を鼓して舞台に上がると次からは、我も我もと５人の園児さんたちが舞台上に来てくれました。

１５分：幼稚園に寄贈され沢山ある和太鼓を活用して、子どもたちと一緒に実演をしました。「義経千本桜」からその一部を、千川家元の踊りと弥清太夫の義太夫と太鼓で指導します。子どもたちは太鼓派と舞踊派の二手に分かれて皆大興奮でした。

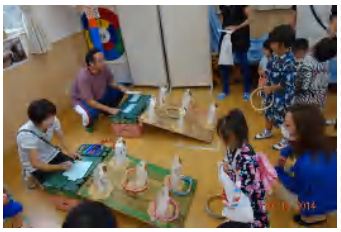
１５分：千川貴楽さんは、歌舞伎の舞台にも立っておられた方です。きっと子ども達も面白がってくれるだろう、と、歌舞伎の化粧道具一式をお持ちになりました。「隈取り」と言われる舞台化粧です。２名の子どもたちに隈取りをほどこすとその途中から皆興味津津。周りを取り囲むように寄って大騒ぎで見ていました。

こうして子どもたちはちょっと異次元の体験をして、祖父母の皆さまや先生方も子どもたちが楽しんでいる姿にまた愉しまれていました。
園長先生からは、ご自身で歌舞伎の“見得”を切って子どもたちと声を合わせ「ありがとうございました！」と御礼の言葉をいただきました。子どもたちもこの園長先生の思わぬ“見得”に一緒になって見得を切る姿が見られ、賑やかに幕となりました。

♡7月18日（金）　村立草野飯樋幼稚園　終業式と夏祭り

翌日から夏休みのこの日、午前中に終業式が行われ、午後からは夏祭りが企画されていました。

午前中は鈴木副園長から、園の近況と気になる子どもたちのその後の様子の報告を受けました。
その後、子どもたちと一緒に、夏祭りの準備をしたり、給食を共にしたり楽しく過ごしながら、行動などの気になるお子さんの様子を伺いました。



午後2時からは保護者の方もお集まりになり、夏祭りが始まりました。
園内が、お化け屋敷や金魚すくい、輪投げやおみくじなどの会場にはや変わりして、親子一緒に楽しい時間を過ごせる沢山の工夫がなされていました。

後片付けには、保護者の方々も加わり、その中での保護者同士のコミュニケーションも大事な機会となっているようでした。

園児をお見送りした後は、幼稚園の先生方と一緒に、この日の園児の様子や今後の活動について話し合いを行い、気になる子どもたちに関しては保護者に付き添っていただき、次回診察を行うことになりました。

♡7月28日（月）　出口貴美子代表が、J-WAVE（HEART TO HEART～WE ARE ONE～）に出演しました

❤このコーナーは東日本大震災の被災者の皆さまとそのバックアップのために活動している団体および個人から“現場の今”をテーマとしてお話しを聴く番組です。
出口代表は、CCCの団体設立の経緯、理念にはじまり、現在の活動、そこから見えてくる被災地およびケアの課題などについて語りました。以下、その一部をご紹介します。下記、Qとしたご案内は野中英紀さんです。

Q）出口さんは長崎県で小児科のお医者さんをされているそうですが、代表を務められている「Cocoro Care for Children」とはどんなプロジェクトになりますか？
A）一言で申しますと、医師の仲間や個人的な友人で構成した震災後の福島県の子どもと保護者のこころのケア団体です。理念として、こども達の未来を輝くものとするために、こどもや保護者のこころのケア、社会へのアプローチ、震災を忘れないための若い世代への継承の３つを掲げています。

Q）震災から３年が経ちましたが、医師の立場から見て、子どもたちや保護者の皆さんの体調や心の状態はどうですか？
A）こども達は、とても愛らしく、元気に育っています。現在入園しておらえるお子さん達は、実際に、生まれたばかりなので、脳の発達の段階を考えても、震災が我が身に起きたことであるという実感は持てませんが、育って行く過程で、保護者やまわりの大人のこころの状態にとても左右されます。
保護者のみなさんは、現在も避難生活を余儀なくされている状況ですので、新しい環境に慣れてきてはおられますが、将来への不安を抱えたままの特別なストレスがまわりに存在することを考慮していかないといけない、と考えています。（中略）

Q）いま足りていないケア、支援は何だと感じますか？
A）足りないケアは、やはり帰村のために必要な環づくりを急ぐことだと思います。（次ページ）

時間が立てば経つほど、こども達は飯舘村の環境を知らずに育ち、飯舘村が故郷であることを肌身で感じることが難しくなります。こども達のこころや脳の発達の過程で、自尊心やidentityがとても大事です。そのために、必要な事の答えはわかりませんが、、、

ただ、国や東電だけでなく、解決できる問題がないか、日本の国民がみんなで我が身の問題であるという意識を持つ事が大事です。
次から次に変化していく時勢に合わせたタイムリーな支援が何であるかを、私達は常に自問自答しながら、迷惑にならないように気にしながら支援を行なっています。
具体的にはわかりませんが、、、飯舘村の‘までい’という福島の言葉があるそうですが、その意味で、手間ひまを惜しまず、丁寧に、こころを込めてをいう飯舘村のこころに寄り添う支援だと思います。

Q）ラジオを聞いているお医者さん、そして一般の方でも何かお手伝いできることはありますか？
A）近々には、一緒に活動してくださる言語療法士さんを探しています。子どもを専門として、経験豊かな方を探しています。
また、震災後３年経過し、私達の活動を支援してくださる基金が少なくなっています。私達の活動に、ご賛同頂ける方は、会員として、もしくは賛助金にてご支援が頂けると大変ありがたいです。

野中さん）（まとめ）番組HPにリンクを貼っておきます。
今夜は「Cocoro Care for Children」代表の出口貴美子さんにお話を伺いました。
以上、「HEART TO HEART～WE ARE ONE～」でした。

♡♡　CCCをご支援ください　♡♡　　～事務局からのお願い～
この活動は皆さまからのご寄附で成り立っております
会員更新いただき、ぜひ継続してご支援賜れば幸甚に存じます。
（振込先：十八銀行　大村支店　普通預金1045920　口座名義　シーシーシー）
ＣＣＣのＨＰ（上帯部分に記載）、ご友人等CCCの趣旨にご賛同頂けそうな方にご案内願えれば尚有り難く存じます。